

警察庁によると、2020年まで

の5年間に交通事故で死亡または重傷を負った幼児は1428人でした。

うち915人(64%)は歩行中の交通事故でした。保護者が目を離した

隙に一人歩き

をして道路に

飛び出し、車

両にひかれる事故が目立っています。

事故は午後4時から5時台で最

も多く発生しています。また事故

に遭う場所は、幼児の自宅から10

0メートル以内が386人(42%)で最も

多くなっています。

幼児は予想外の行動を取ることが多く、ひとつのことに気を取られると、まわりの状況が見えなくなってしまう。道路に急に飛び出

てしまったりす

るかもしれませ

ん。ドライバー

は慎重な運転を心がけましょう。

そして、保護者の皆様は、幼児から

決して目を離すことなく、大切な

命を守ってく

ださい。

## 幼児を交通事故に遭わせない



交通安全三要素